

連絡会だより

連絡会だより第 24 号

2018 年 3 月 25 日

■甲状腺エコー検診のお知らせ

4 月 22 日タワーホール船堀 4 階 407 会議室 午前
の部 9:30 受付 午後の部 13:00 受付

申込みブログ「甲状腺検診えどがわ」で検索し
必要事項を記入。 1500 円程度のカンパで実施

■出資募集 市民ソーラー発電@泉福寺 12.1 k
W で災害時の非常電源にも活用。皆さんと共同出
資し 10 年で返済いたします。1 口 1 万円になりま
す。ご参加お待ちしております。別紙

■講演会 2018 年 3 月 29 日 (木) 18:00 グリ
ーン連合 水野和夫「資本主義の終焉と歴史の危機」
グリーン連合の現代経済システムの勉強会の第 2
弾として、資本主義の死を鋭く宣告された水野和
夫法政大学教授の講演会を開催します。

現代は、16 世紀以来世界を席卷してきた資本主
義というシステムがついに終焉に向かう歴史的な
大転換期にあると水野教授はいいます。それはなぜ
か、この危機をどのように乗り越えていけばよい
のかについて、水野教授のお話をうかがいながら、
じっくりと考えてみたいと思います。

○福島原発事故の自主避難者の住宅補助が昨年 4
月に打ち切られました。江戸川区は江東区につぐ
都内 2 番目に避難者が多い地区だそうです。今
の所、江戸川区に避難している方達へと連絡が取
れていません。昨年 10 月 1 日に、広域支援連絡会
という避難者の大きな繋がりを持つ団体が、
篠崎公園で大きな避難者の為の集会を行っていた
ことを発見いたしました（不参加）。広域支援連絡
会 in 東京を通して被災者への支援を模索中です。
出来ましたら皆さんご協力お願いいたします。

■講演会 6 月 3 日 (日) 14:00~「地域のエネ
ルギー戦略はこう作る」田中信一郎氏 タワーホ
ール船堀 4F 研修室 主催 足温ネット

○フクシマ事故 7 年目 3.21 さようなら原発全国集
会に参加して。吹雪の中 12000 人も参加。集会の
中で事故後 5 ヶ月後、妊娠中の婦人 5 才の子と共
に自主避難した方の発言「政府や行政の理不尽な
対応への激しい憤りと子どもを被爆させてしまっ
たのではとの苦悩。重圧と葛藤の末に自主避難し
た経過」が印象に残る。

○黙々と木を植える人○

・種市靖行さん 甲状腺検診協力医師
震災時には郡山市で整形外科診療所を開業
していたが、翌年に診療所を閉院し妻子を移
住させた。その後、須賀川市の池田記念病院
で整形外科診療を行いつつ、甲状腺超音波
検査者資格取得し子供達を中心として甲状
腺検査を開始。

平成 26 年石川県に移住したが、その後も毎
月郡山市にて甲状腺検診を行いながら、住民
の健康相談も行っている。「NP0 はっぴーあい
らんど☆ネットワーク」HP から抜粋

江戸川区で 2 回目となる甲状腺検診には、前日
土曜日の郡山市の健康相談会のあと船堀に
移動していただき、翌日日曜日の検診に参加
していただきます。「甲状腺検診えどがわ」主
催:4/22(日)タワーホール船堀にて 午前 25
名/午後 25 名

・大越稔秋さん 東京公害患者と家族の会
副会長

公害の視点から、福島臨界事故以前から二酸
化炭素などの測定を継続。事故後は測定範囲
を放射能の影響にも広げ、江戸川区のみなら
ず、東京都全体の数値を蓄積分析。長年に渡
っての継続的測定活動に裏付けされた助言
は、誰もが健康で住みやすい街への思いが
こもっていて実現可能性がみえる非常に具
体的。江戸川区内各所で測定時に出会った方
はぜひお話してみてください。

□編集後記

玄海原発 3 号機が周辺自治体の強い反対の
なか再稼働が強行されました。ある人曰く
原発事故つぎも日本！とならないようにす
るには民主的な政権交代しかありません。